

妊娠の意図と妊娠時の気持ちが生後うつ傾向に与えるインパクトについて — 子どもの健康と環境に関する全国調査 —

馬場幸子

妊娠の意図と産後うつ傾向との関連は報告されているが、妊娠時の気持ちと産後うつ傾向との関連についての報告は見当たらない。本研究では、妊娠の意図及び妊娠時の気持ちと、産後1か月時の産後うつ傾向との関連について検討することを目的とした。

今回はエコチル調査参加者のうち、単胎の生児を出産した女性かつ、妊娠の意図及び妊娠時の気持ち、産後うつの質問に有効な回答が得られた 92,431 名を対象とし、妊娠の意図及び妊娠時の気持ちと、産後うつ傾向の関連について分析した。産後うつ傾向は、EPDS (Edinburgh Postnatal Depression Scale: エジンバラ産後うつ病質問票) で9点以上と定義した。また、妊娠の意図及び妊娠時の気持ちは質問票より、「とてもうれしかった」、「予想外だがうれしかった」、「予想外でとまどった」、「困った」、「特に何とも思わなかった」を用いた。その結果を専門誌 (Archives of women's mental health 先行掲載) に発表した。

「とてもうれしかった」と回答した女性と比較して、「予想外だがうれしかった」、「予想外でとまどった」、「困った」、「特に何とも思わなかった」と回答した女性では産後うつ傾向のオッズ比が高く、特に「困った」と回答した女性において最も高かった(図1)。

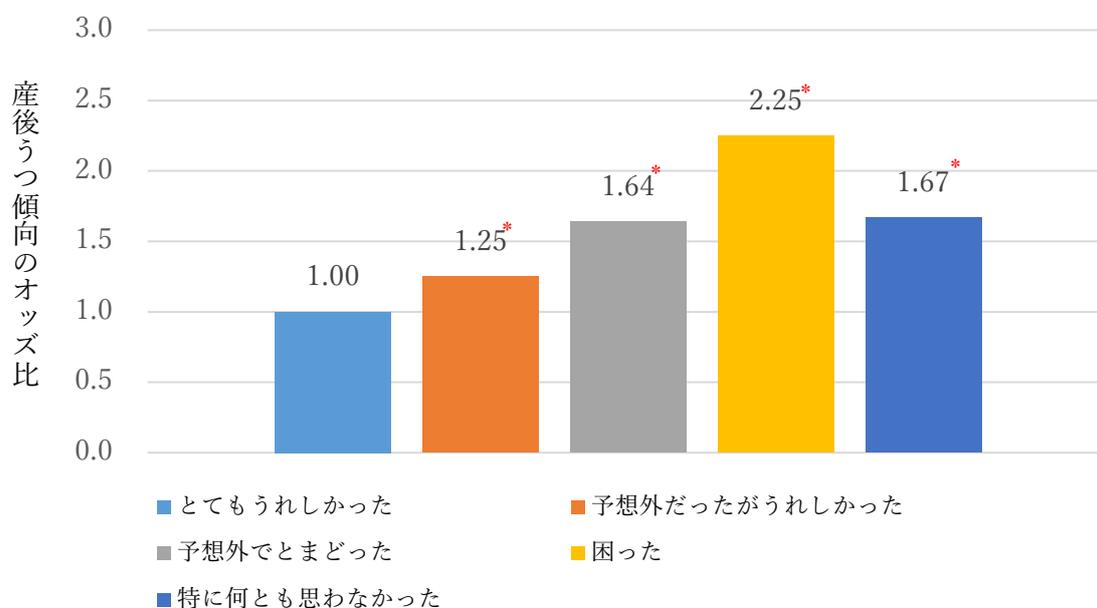


図1. 妊娠の意図及び妊娠時の気持ちと産後1か月時の産後うつ傾向との関連

また、妊娠の意図及び妊娠時の気持ちと産後うつ傾向との関連は妊娠前の抑うつ傾向なし群でより顕著に認められた(図2)。

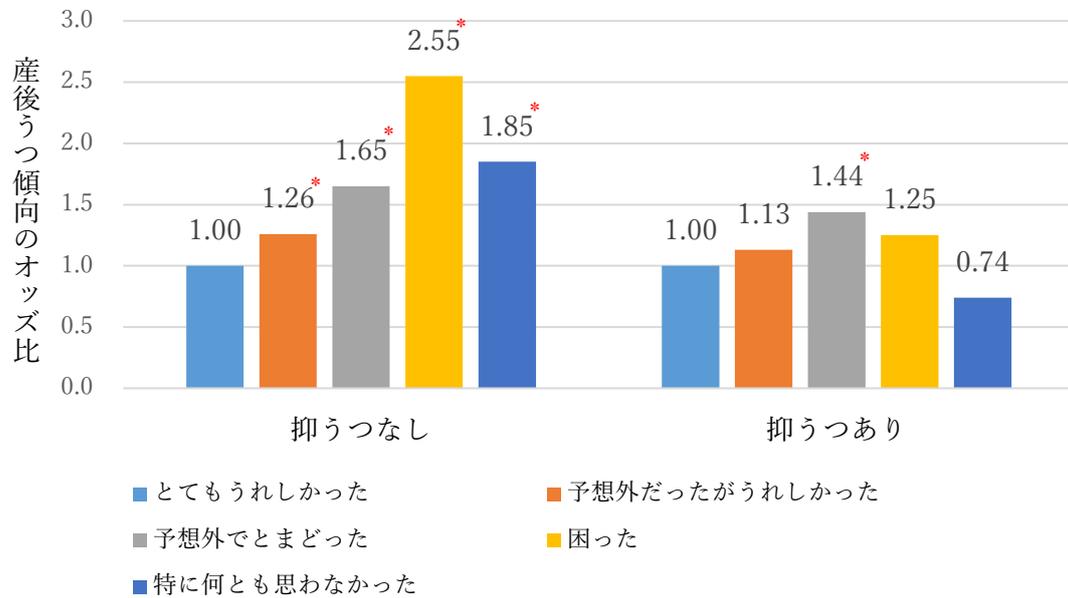


図2. 妊娠前の抑うつ傾向の有無別の妊娠の意図及び妊娠時の気持ちと産後1か月時の産後うつ傾向との関連

妊娠の意図及び妊娠時の気持ちに関して「予想外だがうれしかった」、「予想外でとまどった」、「困った」、「特に何とも思わなかった」と回答する女性については、産後うつハイリスク群とし、産後うつ早期発見及び予防のターゲットとみなすことが重要と考えられる。